

平成19年度 奈良県における高齢者虐待の状況について

1. 養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況について

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（平成18年4月1日施行）」第25条に基づき、養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況についてお知らせします。

平成19年度（平成19年4月1日～平成20年3月31日）、養介護施設従事者等による高齢者虐待は、1件の事実が認められました。

被虐待者の状況	性別	女性
	年齢階級	85～89歳
	心身の状態等	要介護2
虐待の種別	身体的虐待	
養介護施設等の種別	認知症対応型共同生活介護	
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員	
市町村の対応	施設等に対する指導 施設等からの改善計画の提出依頼	

※ 平成18年度は、養介護施設従事者等による高齢者虐待の報告はありませんでした。

養介護施設従事者等

老人福祉法及び介護保険法に規定される特別養護老人ホーム等の養介護施設や、訪問介護等の養介護事業の業務に従事する者をいいます。

2. 養護者による高齢者虐待の状況について

養 護 者

高齢者を現に養護する者であって、養介護施設従事者等以外のものをいいます。

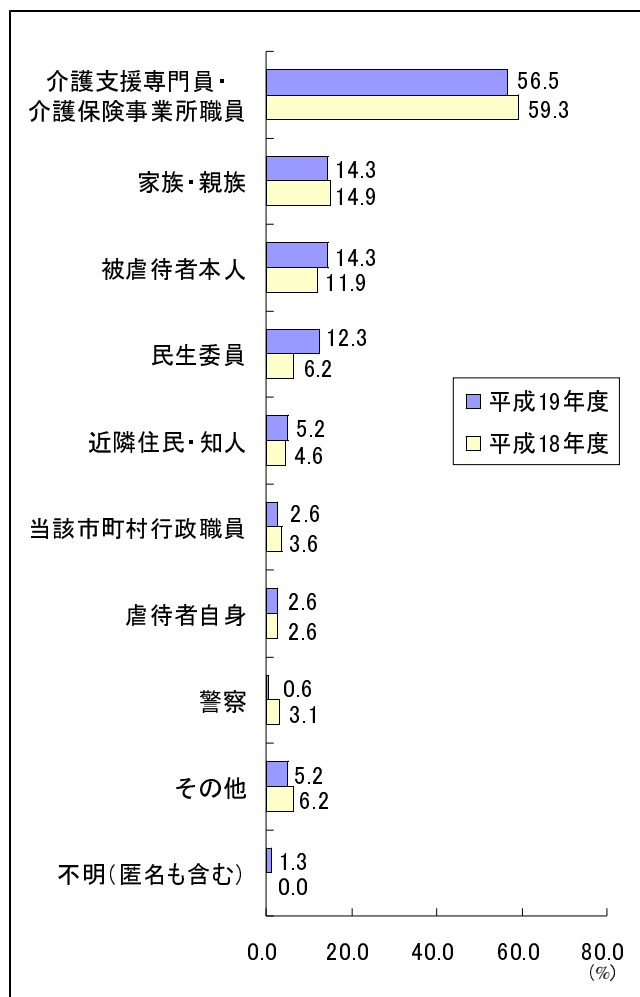
(1) 相談・通報件数及び虐待認定件数について (件)

	平成 19 年度	平成 18 年度
相談・通報件数	154	194
うち虐待認定件数	93 ※	134

※ 平成 18 年度に受理した相談・通報のうち、年度内に事実確認ができず、平成 19 年度に事実確認を行った結果、虐待があると認定されたものを含みます。

(2) 相談・通報者 内訳 (人・複数回答)

	平成 19 年度 (%)	平成 18 年度 (%)
介護支援専門員・ 介護保険事業所職員	87 56.5%	115 59.3%
家族・親族	22 14.3%	29 14.9%
被虐待者本人	22 14.3%	23 11.9%
民生委員	19 12.3%	12 6.2%
近隣住民・知人	8 5.2%	9 4.6%
当該市町村行政職員	4 2.6%	7 3.6%
虐待者自身	4 2.6%	5 2.6%
警察	1 0.6%	6 3.1%
その他	8 5.2%	12 6.2%
不明	2 1.3%	0 0.0%
合 計	177 —	218 —

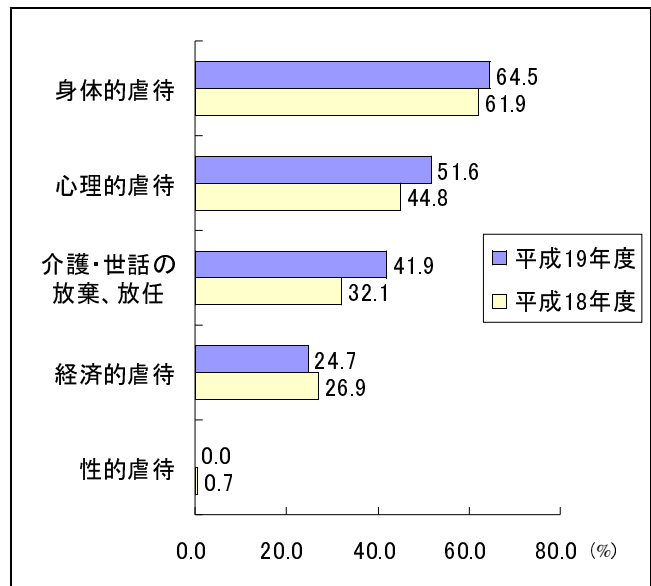


※ 1件の事例に対し、相談・通報者が複数の場合があるため、内訳合計は相談・通報件数と一致しません。

※ 「%」は、いずれも相談・通報総数（平成 19 年度は 154 件、平成 18 年度は 194 件）に対する割合です。

(3) 虐待の種別 (件・複数回答)

	平成19年度 (%)	平成18年度 (%)
身体的虐待	60 64.5%	83 61.9%
心理的虐待	48 51.6%	60 44.8%
介護・世話の 放棄、放任	39 41.9%	43 32.1%
経済的虐待	23 24.7%	36 26.9%
性的虐待	0 0.0%	1 0.7%
合 計	170 —	223 —



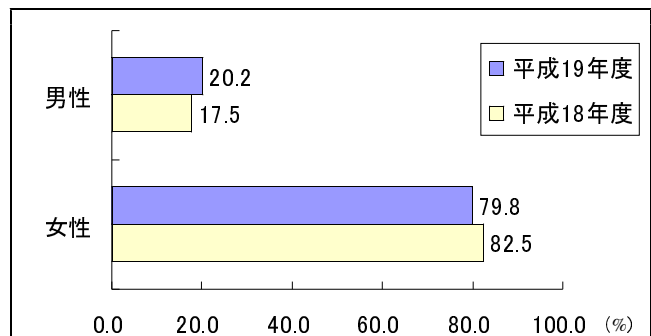
※ 虐待と認定された事例（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する件数です。

※ 1件の事例に対し、複数の虐待が行われている場合があるため、内訳合計は虐待認定件数と一致しません。

※ 「%」は、いずれも虐待認定件数（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する割合です。

(4) 被虐待者の性別 (人)

	平成19年度 (%)	平成18年度 (%)
男性	19 20.2%	24 17.5%
女性	75 79.8%	113 82.5%
合 計	94 100%	137 100%

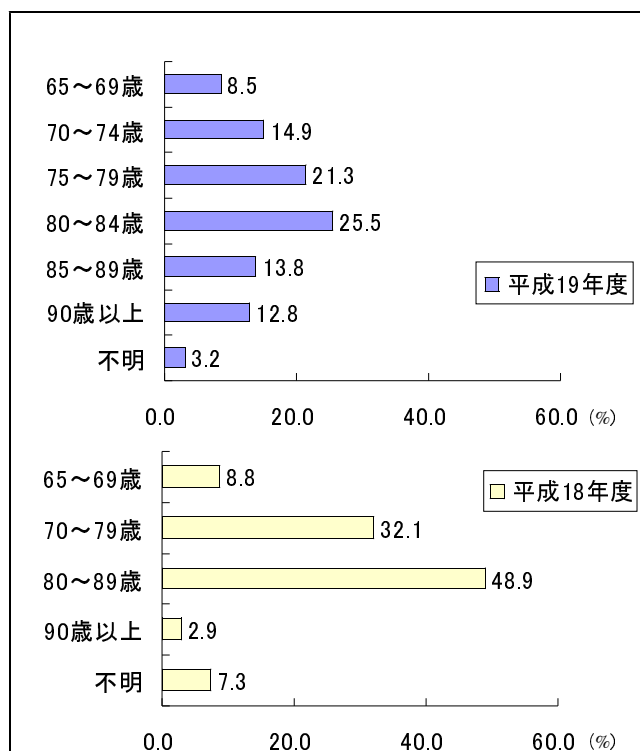


※ 虐待と認定された事例（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する人数です。

※ 1件の事例に対し、被虐待者が複数の場合があるため、内訳合計は虐待認定件数と一致しません。

(5) 被虐待者の年齢（人・複数回答）

	平成19年度 (%)	平成18年度 (%)
65～69歳	8 8.5%	12 8.8
70～74歳	14 14.9%	44 32.1%
75～79歳	20 21.3%	
80～84歳	24 25.5%	67 48.9%
85～89歳	13 13.8%	
90歳以上	12 12.8%	4 2.9%
不明	3 3.2%	10 7.3%
合計	94 100%	137 100%

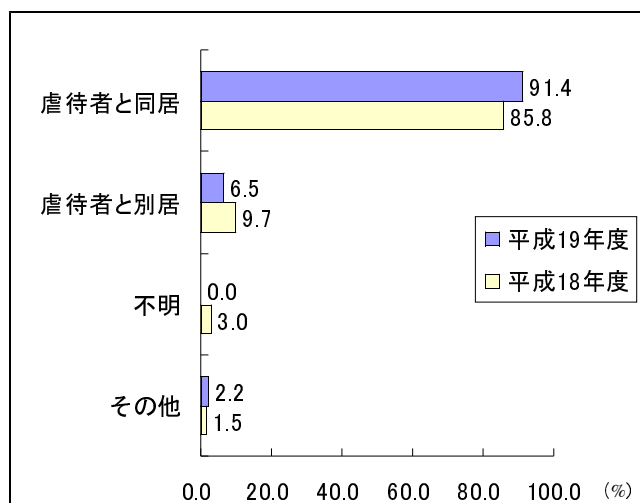


※ 虐待と認定された事例（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する人数です。

※ 1件の事例に対し、被虐待者が複数の場合があるため、内訳合計は虐待認定件数と一致しません。

(6) 虐待者との同居・別居（件）

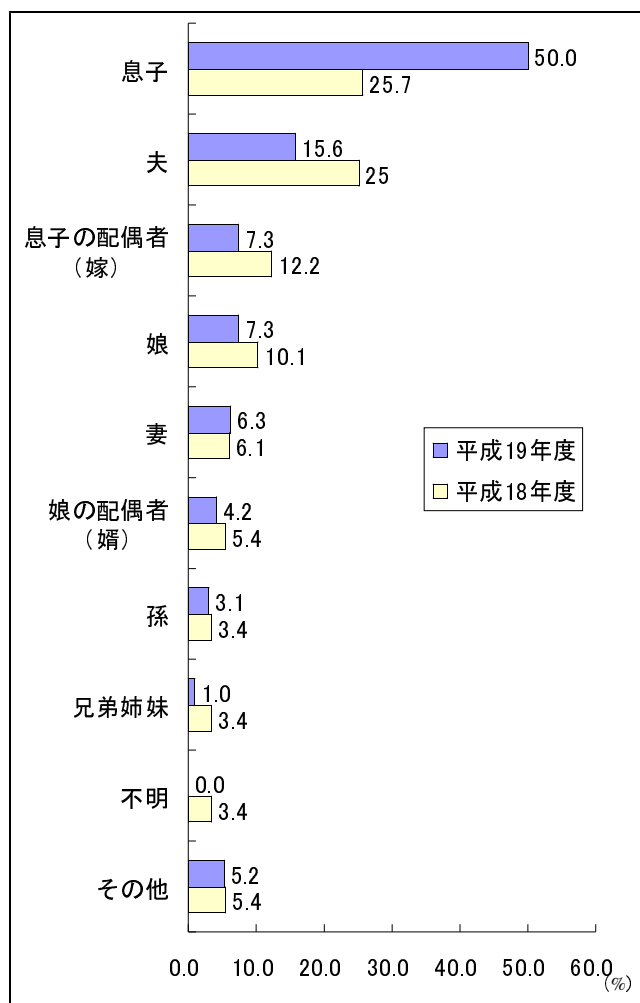
	平成19年度 (%)	平成18年度 (%)
虐待者と同居	85 91.4%	115 85.8%
虐待者と別居	6 6.5%	13 9.7%
不明	0 0.0%	4 3.0%
その他	2 2.2%	2 1.5%
合計	93 100%	134 100%



※ 虐待と認定された事例（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する件数です。

(7) 被虐待者との関係（人・複数回答）

	平成19年度 (%)	平成18年度 (%)
息子	48 50.0%	38 25.7%
夫	15 15.6%	37 25.0%
息子の配偶者 (嫁)	7 7.3%	18 12.2%
娘	7 7.3%	15 10.1%
妻	6 6.3%	9 6.1%
娘の配偶者 (婿)	4 4.2%	8 5.4%
孫	3 3.1%	5 3.4%
兄弟姉妹	1 1.0%	5 3.4%
不明	0 0.0%	5 3.4%
その他	5 5.2%	8 5.4%
合 計	96 100%	148 100%



※ 虐待と認定された事例（平成19年度は93件、平成18年度は134件）に対する人数です。

※ 1件の事例に対し、虐待者が複数の場合があるため、内訳合計は虐待認定件数と一致しません。